

PIECES_{Gem}02

NEURO HARD 蜂の惑星

士郎正宗



電子立ち読み版

SEISHINSHA

これは無料の立ち読み版です。本文 88 ページ中、一部を抜粋して掲載しました。

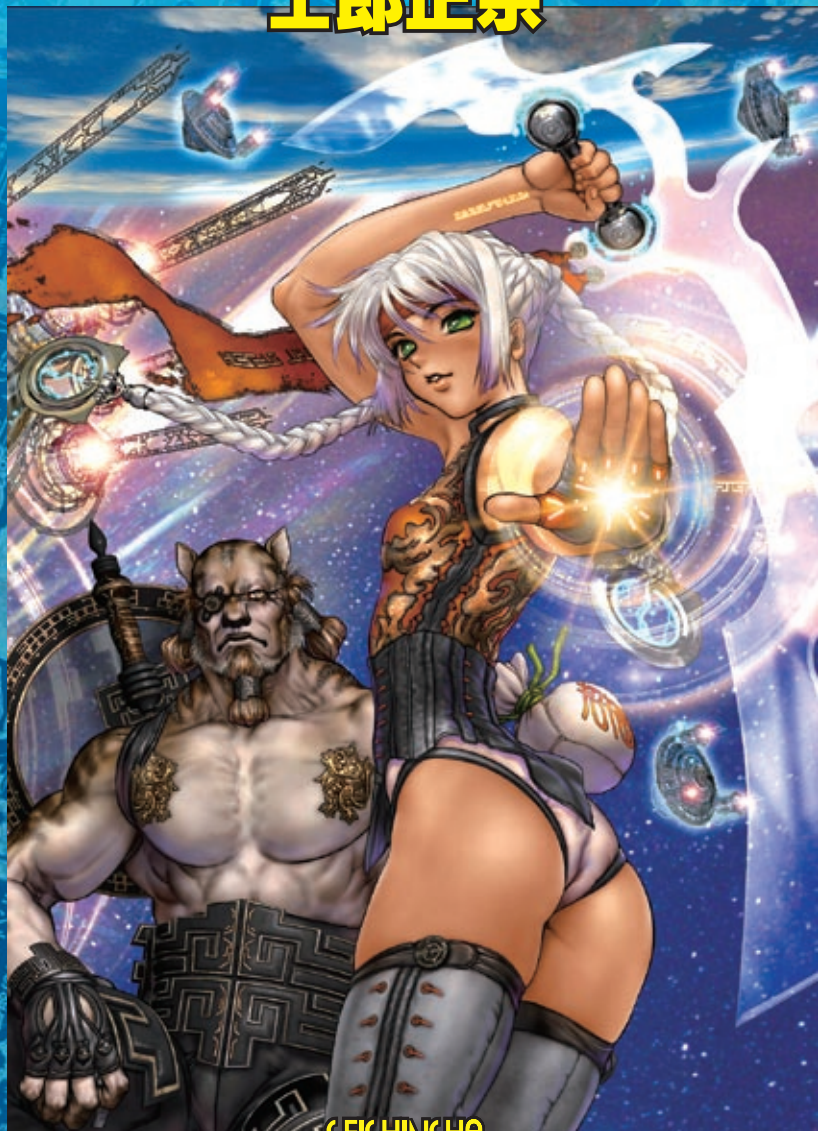
モニタ解像度によっては、モノクロコミックの一部に「モアレ」と呼ばれる縞模様が見える場合がありますが、デジタル化の影響ですのでご了承ください。

PIECES_{Gem}02

NEURO HARD

蜂の惑星

士郎正宗



SEISHINSHA

PIECES_{Gem}02

NEURO HARD について 3

NEURO HARD 7

ストーリー解説 58

キャラクター紹介 60

イラストギャラリー 65

このもくじは商品版の内容です。



NEURO HARD

蜂の惑星

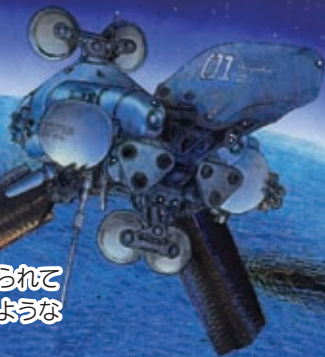
「長風破浪会有時 直挂雲帆濟滄海」
© 李白 「行路難」より

下の絵はブリッジと呼ばれる議員会館内の様子。モニターに5番星の映像が出て拍手が起こった瞬間。

その下はコンタクトその他の諸作業に備えて物理実体化したクルー達による、その後のバカ騒ぎ。先遣隊にとってはこれは送別パーティも兼ねている。



ヒューストン5番星に
先行着陸する為に軌道に
接近しつつある探査ブローブを、
フレマ第一観測ブリッジの大望遠鏡がとらえた映像。送られて
きたデータではまるでヘクタ・クランの為に用意されたような
環境フォームを持つ理想的な星である。

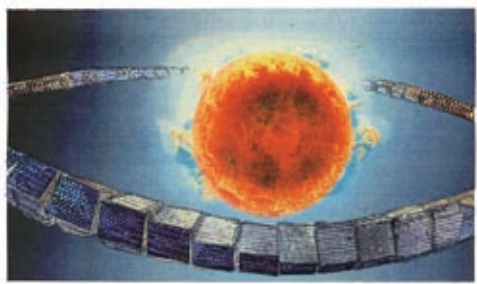


航宙暦2年・人類史歴 2300 年・地球歴4万2015年、
スターシードブームに乗って、外宇宙へ旅立った機動
惑星フレマ・フォトン（同時期に宇宙へ旅立った星は
9ツ）は目的地ヒューストン5番星に到着しようとし
ていた。

スペクトル測定の結果、生命活動があるのではないかと
思われる自然発生しがたい物質が出ていたし霊能探
査でもかなり高度な結果（霊的障壁）がはられていて
表面探査できなかったこともあり、コンタクトの期待
も高まっていた。

強いて言えば主人公にあたるのが
このマルチナ・リュード。ヘクタ・
クラン（六種族系）のハイブリッドで、フレマ・ヒュトン先遣隊の
一員である。

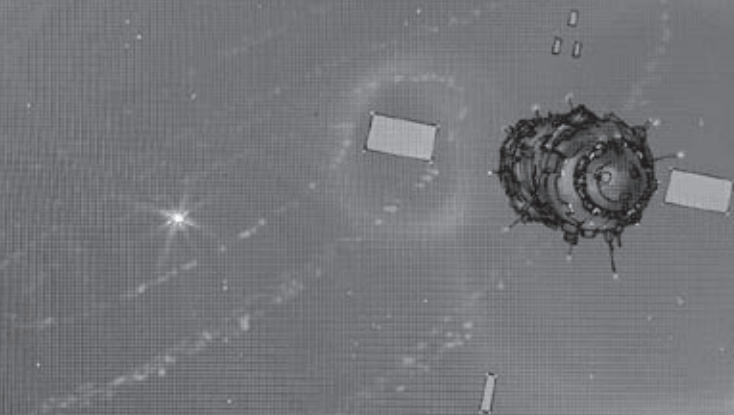
蜂は先遣隊千人がヒューストン5
番星でファーストコンタクトする
高度知的生命体の中で友好的な？
一匹で、マルチナが「ローズ」と
名付けたキャラクター。



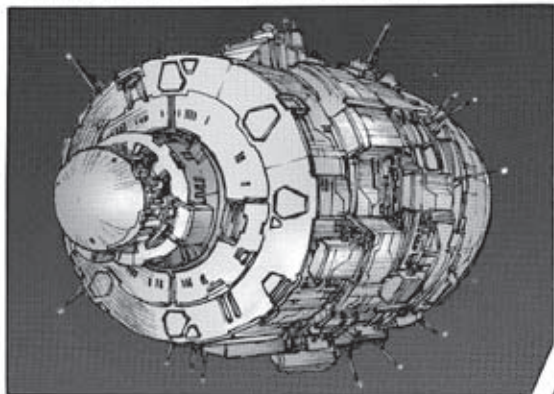
上はフレマ・ヒュトンの概念図。実際のサイズ・
距離とは異なる。ガス・ジャイアントから「連
星式設置をした量子ブラックホール」で組み上
げられたガスの降着円盤から、ブラックホール
を抜いて芯を入れて点火して作った人工太陽が
ヒュトンである。実にムダなシステムの様だが、
ホームシックテロの発生率が高いせいで採用
された。フレマは自・公転するラセンコ
ニーで、約20億人が生活している。
変……。



NEURO 蜂の惑星 HARD



機動惑星フレマ・ヒュトンをヒューストン星系軌道内へ入れる事はできない。星系内の7個の惑星に影響が及び、火山が噴火したり大洪水が起きたり軌道がズレたりしたら何の為にやる必要ができたかわかんから。そこでヒュトンを公転軌道の外に停止させ（どうやって？）そこから内宇宙船でゆっくり（相対超光速より遅いとゆー事）目的地である第5惑星に向かうワケだ。内宇宙船（上・下図）はソラリアン自衛の定軌船で光速の60%までが現在可能とされている。（それ以上は船体を維持するリゲリアンの重力場装置とのバランスを保てずぶっ壊れてしまうからである）

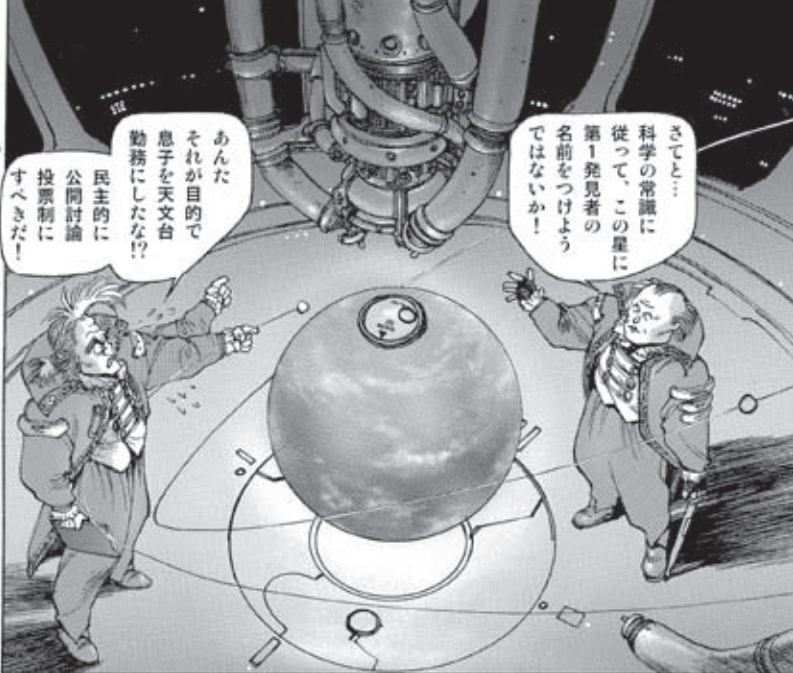


定軌シャトル「TOUGH ME NOT」（ボウセンカ）号。進行方向に重力レンズを応用した界面シールドを5層はっている。内宇宙は外宇宙と違って微粒子や小岩石が多く危険だからである。



■これはホログラフではなく、真鍮製模型の中央に黒い球面モニターがあるのだと思って頂きたい。プラマ第一天文観測所の一室にも同じ配置があるが、これはホウセンカ号のまだ稼働していないブリッジである。

■2人の人物は役員会のメインスタッフで クラムト氏とキンドルウ氏



さてと……
科学の常識に従って、この星に第1発見者の名前をつけようではないか！

あんたそれが目的で息子天文台勤務にしたな！

民主的に公同討論投票制にすべきだ！



科学技術局 局長
ジョン クラムト氏



物質生成局 局長
キョージ キンドルウ氏

←2人の身長比→



そんな綺麗事を言うが生成局食品部や衣料部で票数をコネまくって自分の名を星につけたいんじゃないのか！

バツバツ言うなバツバツ

■2人はかつて仲の良い親友だったのだが、今彼らが着ている服装のデザインをキンドルウさんがした時、(多量というかヘンな人というか…) クラムトさんがこれを評して「誇大妄想の進化種だ」と言ったとか言わなかったとか… それ以来、なんとなくこの様にギクシヤクするのである。(対立してるという様事ではないわ！)



これはメイン
スタッフ全員
による定例議
食。
ファースト
デッキで行わ
れている。
中央の人が
艦長のモス
トーンさん。

コマ左に見える
タコチューみた
いなのはクリス
チナの艦内用一
階席中継メカ。

その役員会の決議・伝達事項等をブリッジのクルー達に達達
するのがこのクリスチナ・ストロンチウムの仕事である。→



ふふ

ポポボ
僕の事
笑った
……？
いや
別に

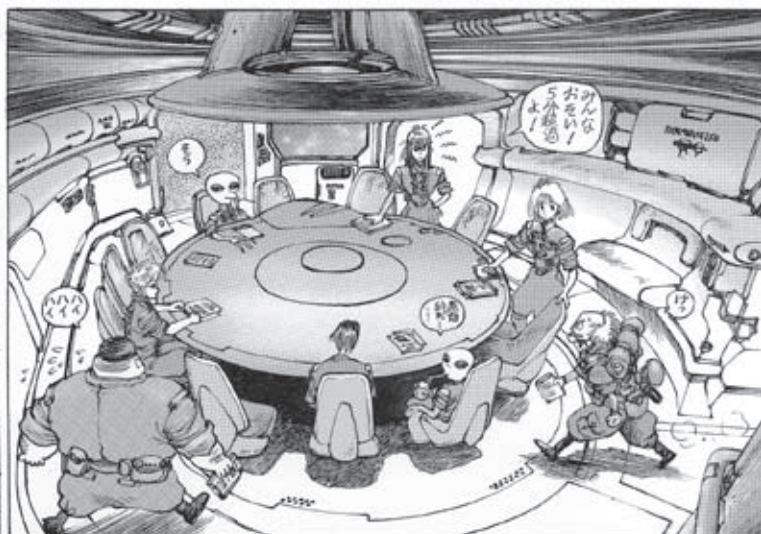


テレミーティングではな
くわざわざメッセンジャー
を使う理由は次ページ。

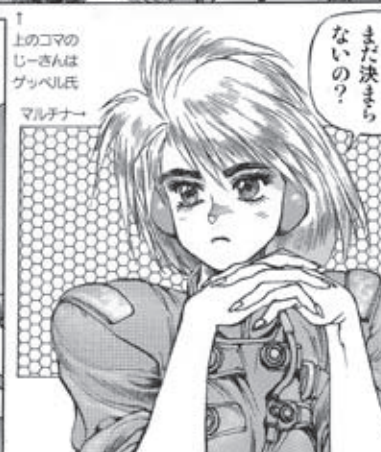


この装置みたしなのは艦内
移動用半自動ロボット。
地上35センチ浮上に設定
してある。物置生成機で動
るのに30秒もかかる。

テレミーティングしないのは 1ツにはフルコンタクトの話し合いをするあと、もう1ツはチャンネルを留守又はダミーにしてサボるのを防ぐ為である。定期的に働く事で生活リズムもとれるし気分転換にもなるのでこの方式を採用している



彼らはボウゼンカ号のブリッジクルーである。希望室内のドライブ（希望時下・着陸・移動・上昇航路）が等閑で、船が希望室内に入るまでのオートドライブ時と船が希望室に着陸した後は特に決められた仕事がない。いわばナンデモ屋となるメンバーである。つい3週間前までは経済性優先とゆう事でファイリングされていた。生成されてから10日ぐらひは宇宙船乗組にふれたとが生命は違っているだとカオス教めいた事を言っていたバグ（おそうなる）今ではすっかり只の凡庸に変わった様だ。



ハストン
自撮りカメラ

ニッキ
日記と読者

マルチナー

つづきは書籍版でお楽しみください。



PIECES_{Gem}02

NEURO HARD 蜂の惑星

2015年7月7日 立読版発行

著者 士郎正宗

Author: ©2015 Shirow Masamune

発行者 青木治道

Publisher: Harumichi Aoki

発行所 株式会社 青心社

Seishinsha Co., Ltd.

〒550-0005 大阪市西区西本町1-13-38

Shinkosan Bldg. 720

新興産ビル720

1-13-38 Nishi Honmachi

電話 06-6543-2718

Nishi-ku, Osaka 550-0005

FAX 06-6543-2719

振替 00930-7-21375

<http://www.seishinsha-online.co.jp/>

<http://www.seishinsha-online.co.jp/>

Printing/binding: MORIMOTO PRINT Co., Ltd.

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。
また、本書の複製を代行業者等の第三者に依頼することは、個人での利用であっても認められておりません。

電子立ち読み版 無料

書籍版は全国有名書店・コミック専門店

または青心社ホームページからの直販にて
お買い求めください。

<http://www.seishinsha-online.co.jp/>

